

平成 22 年度 第 3 回 史跡部会
会議録（要旨）

- 1、日 時：平成 23 年 2 月 15 日（火） 13 時 30 分～16 時 00 分
- 2、場 所：熊本市古京町別館 2 階 第 1 研修室
- 3、出席委員：田中部会長、今村委員、高瀬委員、山尾委員、（服部委員 欠席）
- 4、審 議
 - (1) 馬具櫓復元整備に伴う諸問題の検討
石垣保存修理の実施について（史跡部会）
現状報告及び修理範囲、施工方法等の検討
 - (2) 現地指導
馬具櫓石垣の解体状況確認及び積み直しの検討

【審議内容】

○事務局説明

- ・石垣解体範囲について、当初計画範囲と実施解体範囲の説明を行う。
- ・石垣の積み直し方法、天端高さ、輪取り（石垣天端の曲がり）について、図面で説明を行う。

○審議結果

- ・石垣解体範囲については、図面と現地で確認していただいた。
- ・石垣の積み直し方法については、明治期（明治 22 年の地震で崩壊）に積み替えられた箇所が当時とは違う積み方となっているため、古写真に倣い積み直す。
- ・石垣天端高さは東側と西側では約 20 c m の差があるため、水平に近くなるよう調整を行う。
- ・輪取りについては、現在の曲線の度合いが大きいため、少し緩やかにする。

5、協 議

(1) 計画策定部会の作業スケジュールについて

保存管理計画の見直しに伴う今後のスケジュール（事務局提案）

【協議内容】

○市文化財課説明

- ・ 前回委員会（H22.8 開催）での指摘を基に、見直したスケジュール案を説明する。
- ・ 提案内容
 - 23 年度は計画策定準備部会で見直しに向けた下準備を行う。
 - 24 年度に計画策定部会を発足させる。
 - 25 年度～26 年度の 2 ヶ年（補助事業）として計画策定を行う。

○意見

- ・ 計画策定の見直しは時間をかけることなく早急にすべきである。石垣や樹木などの基礎調査をはじめ、早くやれることは早急に取り掛かってほしい。
- ・ これまでの基礎資料を基に見直すことになるので、現状との相違点や追加すべき点を把握し見直すことが重要である。
- ・ 計画策定部会は早急に発足させる必要があることから、基礎資料作成と同時並行で進められないのか。（計画策定部会発足 24 年度 → 23 年度）
- ・ 計画策定のための国補助事業期間は 2 年間（平成 25・26 年度）となっているが、早期に着手してほしいので、平成 24 年からの 3 年間とはできないのか。（今後、文化庁と協議を行う）
- ・ 現在、直近で一番大きな問題は、合同庁舎跡地利用についてである。今後、特別史跡の追加指定範囲にも含まれる場所なので、どのような方針にすべきか早急に考える必要がある。
- ・ 国立病院など情勢が変わり、管理の方法や追加指定など保存管理の方針を新たに見直さなければならない。保存管理計画の中の「保存管理」の項目が最も重要となる。

○協議結果

- ・ 助言、指導に基づき、「保存管理計画の見直しに伴う今後の作業スケジュール」を修正する。
 - 3/25 委員会 修正案を提出する。